

地域住民と一緒にって社会福祉の問題を解決

鳥見デイサービスセンター “ふらっと” 奈良県奈良市

昨今、核家族化や高齢化に伴い、老人などの社会的孤立の問題が発生し深刻化している。そういった状況下、「社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会 地域支援課 鳥見デイサービスセンター “ふらっと”」は、奈良市西部エリアにおける地域の社会福祉活動を支援する拠点として、平成24年10月1日にオープンした。

「地域社会で起こっている社会福祉の問題を住民と一緒にって解決していく組織です」と責任者である川崎佐和子所長が語るように、“ふらっと”の役割は、デイサービス（通所介護）や地域住民主体で取り組んでいる社会福祉活動を積極的に支援することである。

“ふらっと”は、希薄になりがちな住民間のコミュニケーションを強化し、だれもが幸せに暮らせる豊かな社会を実現するために、以下の活動を展開している。

■音楽の有効的な活用

“ふらっと”では、音楽療法を取り入れたデイサービスを実施している。



音楽療法の様子

音楽療法は、身体的、精神的な健康の維持、回復、増進に効果があるとされ、音楽療法士の資格をもつ社協職員が万全のサポート体制を敷いている。

■福祉活動を支援する拠点

福祉活動の取り組みにあたっての各種相談や地域住民の福祉関連の困りごと・心配ごとの相談を受け付けたり、地域住民や関係団体の会議や活動に部屋を無料で提供したりして、住民の社会福祉活動や日常生活をサポートしている。また、レクリエーション用具の貸し出しを行うなど関連する様々な取り組みを行っている。

■安心の居場所づくり

普段から日常生活の一部として、また安心して“ふらっと”利用してもらうために「地域交流室

の設置」や「畑づくりを通じた交流の活発化」などに取り組んでいる。

地域交流室の設置

地域住民などが誰でもふらっと立ち寄って利用できる多目的なスペース（地域交流室）を施設内に設け、場の提供を通じて地域住民の交流を手助けしている。今後、コミュニティカフェとしての利用や野菜の販売など内容を充実させる予定である。

畑づくりを通じた交流の活発化

デイサービスの利用者、職員に加え地域住民も参加して畑づくりを行っている。花や野菜の栽培という共同作業を通じて会話が生まれ、利用者・地域住民・職員の交流が活発化するという効果が生まれている。



地域住民の会議風景（左）とデイサービス利用者と住民による畑づくり（右）

今後の課題は、近所付き合いはじめとした社会とのつながりの希薄な人やゴミ出し、買い物などに負担を感じる人など「現時点の支援体制から抜け漏れている社会的孤立者」をいかに支援していくかである。その実態把握と支援の仕組みづくりに向けて、現在、自治会や支援団体にヒアリングを行っている。“ふらっと”では、さらに調査を進め、法的支援が整備されていない孤立者のサポート体制を構築して、課題の解決に繋げていく予定である。

（丸尾尚史、橋本公秀）



川崎所長（左）と後藤主任（右）

社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会 地域支援課
鳥見デイサービスセンター “ふらっと”

〒631-0061
奈良県奈良市三碓町2204番地
TEL：0742-93-3741
FAX：0742-93-3740